



## 第14回 創成シンポジウム「科学と芸術のあいだ —アートが北大を変える—」の開催について（お知らせ）

### 開催概要：

既存の分野の枠を超えた研究や、若手人材の育成等を推進する北海道大学創成研究機構ではこの度、「アート」をテーマに、札幌国際芸術祭実行委員会と共催でシンポジウムを開催します。

2017年夏、北海道大学で科学とアートが出会います。北海道大学という舞台に科学者とアーティスト、学生、市民が集い、何が起こり、生み出されるのでしょうか？本シンポジウムでは、科学とは何か、アートとは何か、共通点はあるのか等、科学者、アーティストそれぞれの視点から語り合います。新たなステージの幕開けを、一緒に体験しませんか？

札幌国際芸術祭2017ゲストディレクターの大友良英氏も登壇します。

**日時：**2017年2月10日（金） 18:00~20:00（開場 17:30）

**会場：**北海道大学学術交流会館 講堂

（札幌市北区北8条西5丁目、札幌駅から徒歩7分）

**参加費：**無料（どなたでもご参加いただけます。）

### プログラム

開催挨拶：

川端 和重 北海道大学創成研究機構 機構長／理事・副学長

オープニングトーク：

**北大で芸術祭ってなんだ？**

北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）

特任助教 朴 炫貞

講演：

**「表現としての科学」の可能性から科学を再考する**

metaPhorest 主宰，早稲田大学教授／美術作家・生物学者

岩崎 秀雄

**トークセッション：音楽家×研究者「音とノイズのあいだ」**

**パネリスト**

大友 良英 札幌国際芸術祭 2017 ゲストディレクター／音楽家  
岩崎 秀雄 metaPhorest 主宰, 早稲田大学教授／美術作家・生物学者  
相馬 雅代 北海道大学大学院理学研究院 生物科学部門 准教授

**ファシリテーター**

朴 炫貞 北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)  
特任助教

**イベント URL** : <http://sympo14.hokkaido.university/>

**主催** : 北海道大学創成研究機構 (<http://www.cris.hokudai.ac.jp/cris/>)

**共催** : 札幌国際芸術祭実行委員会 (<http://siaf.jp/>)

北海道大学 CoSTEP (<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/>)

**後援** : 札幌市, 札幌市教育委員会



**お問い合わせ先**

北海道大学創成研究機構 研究支援室 担当：川本 真奈美 (かわもと まなみ)

〒001-0021 札幌市北区北 21 条西 10 丁目

TEL : 011-706-9274 FAX : 011-706-9275 E-mail : [rso@cris.hokudai.ac.jp](mailto:rso@cris.hokudai.ac.jp)

# 科学と アートが 芸術の 北大を あいだ 変える

第14回創成シンポジウム  
2017年2月10日(金)  
18:00～20:00(開場17:30)

北海道大学 学術交流会館 講堂  
北海道札幌市北区北8西5  
(正門より入って左側2棟目・JR札幌駅北口より徒歩5分)



大友 良英さん  
(撮影:クスマエリカ)



岩崎 秀雄さん  
(撮影:新津保健秀)



相馬 雅代さん

2017年夏、北大で科学とアートが出会います。  
北大という舞台上で科学者とアーティスト、学生、市民が  
集い、何が起こり、生み出されるのでしょうか？  
本シンポジウムでは、科学とは何か、アートとは何か、  
共通点はあるのか…科学者、アーティストそれぞれの  
視点から語り合います。  
新たなステージの幕開けを、一緒に体験しませんか？

オープニングトーク

北大で芸術祭ってなんだ？

朴 炫貞

北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)  
特任助教

講演

「表現としての科学」の可能性から  
科学を再考する

岩崎 秀雄

metaPhorest 主宰、早稲田大学教授 / 美術作家・生物学者

トークセッション

音楽家×研究者「音とノイズのあいだ」

パネリスト

大友 良英

札幌国際芸術祭2017ゲストディレクター / 音楽家

岩崎 秀雄

metaPhorest 主宰、早稲田大学教授 / 美術作家・生物学者

相馬 雅代

北海道大学 大学院理学研究院 生物科学部門 准教授

ファシリレーター

朴 炫貞

北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)  
特任助教

主催：北海道大学 創成研究機構  
共催：札幌国際芸術祭実行委員会、北海道大学 CoSTEP  
後援：札幌市、札幌市教育委員会



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY



## 入場無料

事前申込制となります。  
申込期限：2017年2月6日(月)

※応募多数の場合は抽選となります。  
※応募に際してお預かりした個人情報、本企  
面の連絡にのみ使用いたします。  
※携帯電話のメールをご利用の際は  
「@cris.hokudai.ac.jp」のドメイン指定受信の  
設定をお願いいたします。

## フォームからのお申込み

<http://sympo14.hokkaido.university>

## Email、Fax でのお申込み

①氏名、②年齢、③職業、④メールアドレス  
(または電話番号、FAX番号)を明記の上  
お申込みください。

## お申込み・お問合せ

北海道大学  
創成研究機構 研究支援室

札幌市北区北21条西10丁目  
TEL：011-706-9274  
FAX：011-706-9275  
E-mail：rso@cris.hokudai.ac.jp  
<http://www.cris.hokudai.ac.jp/cris/>

科学技術と芸術って共通点があるの？

研究者と芸術って関係があるの？

北大で芸術祭をやる意義があるの？

# 科学と芸術のあいだ

アートが北大を変える



(撮影:クスマエリカ)

**大友 良英** (おおとも よしひで) - 音楽と市民参加

音楽家/プロデューサー/札幌国際芸術祭2017ゲストディレクター  
1959年、神奈川県横浜市生まれ。実験的な音楽からジャズやポップスの領域までその作風は多種多様、その活動は海外でも大きな注目を集める。また映画やテレビの劇伴作家としても数多くのキャリアを有する。近年は「アンサンブルズ」の名のもと、さまざまな人たちとのコラボレーションを軸に展示作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、一般参加型のプロジェクトにも力を入れている。東日本大震災後は十代を過ごした福島でプロジェクトを立ち上げ、現在もさまざまな活動を継続中。2012年には、「プロジェクト FUKUSHIMA !」の活動で芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。2013年、「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞ほか数多くの賞を受賞している。2014年、独立行政法人国際交流基金アジアセンターとともに「アンサンブルズ・アジア」を立ち上げ、音楽を通じたアジアのネットワーク作りに奔走している。

**岩崎 秀雄** (いわさき ひでお) - 生命美学・生命科学

アーティスト/生命科学研究者

1971年生。metaPhorest 主宰、早稲田大学理工学術院教授。科学および芸術の一筋縄ではいかない界面・関係性に興味を持ち、生命をめぐる科学・思想・芸術に関する表現・研究のプラットフォーム metaPhorest を2007年より運営している。著書に『<生命>とは何だろうか:表現する生物学, 思考する芸術』(講談社2013)、主な作品に aPrayer (人工細胞の慰霊, 茨城県北芸術祭2016)、Culturing <Paper>cut (ICC など2013)、Biogenic Timestamp (アルスエレクトロニカセンター, ICC, 2013-) など。バクテリアの生物時計や形態形成などの研究で文部科学大臣表彰若手科学者賞、日本時間生物学会奨励賞など。「細胞を創る」研究会会長 (2016年)。



(撮影:新津保健秀)

**相馬 雅代** (そうま まさよ) - 鳥のラブソングを読み解く

北海道大学 大学院理学研究院 生物科学部門 准教授  
神奈川県 (横須賀・横浜) 生まれ。東京大学教養学部を経て、東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系生命・認知科学コース博士課程修了。博士 (学術)。「鳥の歌行動」、「求愛ディスプレイ行動」などの研究から、コミュニケーション行動の機能と進化の解明を目指している。セイキチョウの珍しい求愛行動「超高速タップダンス」をハイスピードカメラでとらえた映像は多くのメディアでも取り上げられた。札幌国際芸術祭2014では、地下歩行空間で開催された「北大アーティストカフェ」に登壇。平成27年度 文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞。

**朴 炫貞** (ぱく ひょんじょん) - 科学技術コミュニケーションとアート

北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任助教  
武蔵野美術大学大学院デザイン専攻映像コース修士課程修了後、同大学院環境形成研究領域博士課程修了。造形芸術博士。映像作家・映像ワークショップ企画者。アートやデザインの観点から科学技術コミュニケーション実践を行ない、研究している。他領域とアートをつなぐことで、アートとしても、それぞれの領域としても価値のある活動を目指している。2017年2月末まで札幌駅アートボックスで「PHOTO SPOT」の作品を展示中。

